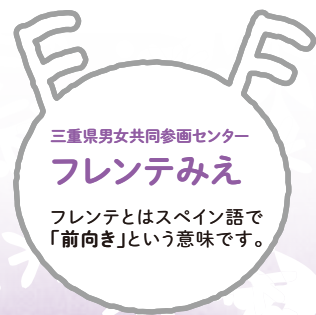


Frente



三重県男女共同参画センター
フレンテみえ

フレンテとはスペイン語で
「前向き」という意味です。

2020.12

vol.83

特集

里中満智子講演会
『「万葉集」と「天上の虹」
〜歴史からひも解く生き方とは〜』

新しいあなたで、あなたらしい歴史を。

事業案内

- 「男女共同参画フォーラム
～みえの男女(ひと) 2021～」
- 「WHITE RIBBON RUN 2021 in みえ」
- フレンテみえを、おうちで。
「ミニセミナー in オンライン」

特集

- フレンテ所長★荻原くるみの紹介したい人!
第3回 浦狩知子さん
- フレンテスタッフコラム
あなたとわたしの『あたりまえ』を考える
第3回 『「知らない」ことに気付くために』

イベントレポート

- 「娘から見た母・母との関係」
- フォーカスみえ
「痩せる×幸せのカンケイ
～なぜ私たちは痩せたがるのか～」
- 「LGBT 相談員育成講座」



フレンテみえファンファーレ事業

里中満智子講演会

「万葉集」と「天上の虹」
～歴史からひも解く生き方とは～

新型コロナウイルスの影響により2度の延期となった今年度のファンファーレ講演会。多くの皆さまの応援、ご協力をいただき、ようやく開催することができました。

今回講師にお招きしたのは、「アリエスの乙女たち」をはじめ数多くの名作を発表し続けているマンガ家、里中満智子さん。女帝である持続天皇を主人公とした作品「天上の虹」を30余年に亘り執筆された里中さんから、万葉集で描かれている時代の男女の生き方などについて、お話いただきました。

その様子の一部をご紹介します！



万葉集の歌からみる、恋する男女の姿とは

皆さんこんにちは。今日は万葉集の話から、当時の人たちの暮らしに少し迫れたらと思っております。

私は戦後の団塊の世代の生まれで、戦後女性は強くなったとか、男女平等とかをうたい文句にしている中で育ってきました。でもその前は全て男性中心で、女性は何の意見も言えなかった。女性は自らで生計を立てることはできず、夫あるいは息子あるいは父親、それに付属したものでした。当時、女性が強くなった代わりに男性が

弱々しくなったと言われるようになりました。すると大人たちは言うわけです。昔の日本男児は黙って耐えた、言い訳をしなかった、泣かなかつた。そういう風に思い込んでいたんです。私もずっと信じていました。有史以来、日本人の男性と女性の関係はこうだったんだと。ところが、万葉集を見ていたら、ふと気がついたんです。あれ、作者の名前を見なければ、この歌を作った人が男性か女性かわからない、と。

男性が作ったと分かった歌でも特に惹かれたのが、舍人皇子(とねりのみこ)という、

今でいうところのプリンスの歌です。

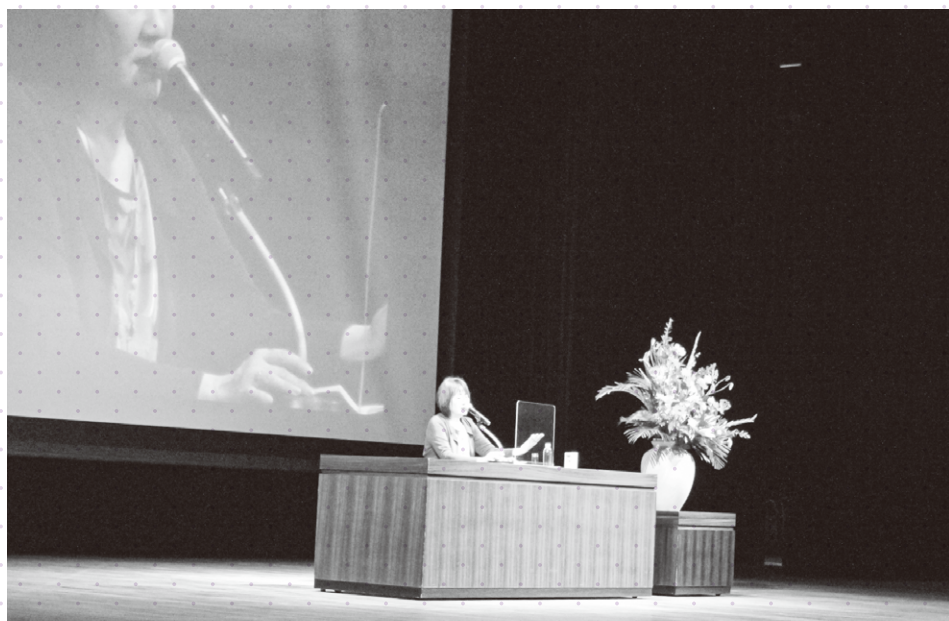
『^{かたこひ}ますらをや ^{なげ}片恋せむと ^{なげ}嘆けども
醜^{しこ}のますらを ^{なげ}なほ恋ひにけり』。

どういう意味かという「男たるもの片思いになんか嘆くものか、みっともない男なんだから、とそう思っても私は醜い男だ、恥ずかしい男だ、この想いはもう募るばかりだ」という歌です。この歌は、大人たちが言っている、昔の日本男児は愛だの恋だのとメソメソしなかったってということとは違います。この人だけの特徴なのだろうかと思っていいろいろ探してみると、あるわあるわ。男性なのに恋のためなら死んでもいいとか、そういう切々たる歌がたくさんあります。彼は片思いに嘆いていて、みっともないと思いながら、歌を誰かに捧げています。その証拠に、歌を送られた舍人娘子(とねりのおとめ)の返事がちゃんと載っています。

『^{なげ}嘆きつつ ^{なげ}ますらをこの ^{なげ}恋ふれこそ
我が結^ゆふ髪^{かみ}の ^{なげ}ひちてぬれけれ』。

意味は「嘆きながら男であるあなたが、そうやって恋をしているから、私の結った髪は濡れてほどけちゃうのね。」となります。

この歌はちょっと上から目線だになっているのがわかります。それで私は「あれ?」と思いました。皇族である舍人皇子と違って、舍人娘子は皇族ではありません。私たちのイメージでは、身分の高い男性は



「あのの子がいいな」って言ったら有無を言わせずものにできた。ところが、プリンスがラブレターを書いて、プリンスより身分の下の人が、上から目線で歌を返しているじゃない、とびっくりしました。身分の高い男性から想いを打ち明けられても、それに答えるかどうかはその女性の心次第。それを見て、私がずっと聞いていた、昔の日本男児と全く違う実像が万葉集の中にはあると気づきました。

持統天皇への想いとは

私がこの時代をテーマにした作品を描くうえで誰を主人公にしようかと思ったときに、できれば万葉集に素晴らしい歌を多く残していて、歌を作った人たちと関わりが深く、その生涯がある程度詳しく分かっている人と考えました。そしてさらに、創作する人間の欲として、これまで誰も主人公にしてない人を主人公にしたいと思いました。しかもどちらかというと悪く言われている人。歴史解説の本、その全部といってもいいくらい、持統天皇(鷲野讃良皇女(うののさららのひめみこ))のことは良く書いてありませんでした。

持統天皇は女性です。父の七光り、夫の七光りで権力を手に入れた女。息子を無理やり天皇にしようとして、息子のライバルを殺した。片腕として使っていた高市皇子(たけちのみこ)が天皇にふさわしい年齢になってくると、これはまずいとばかりに殺した。証拠もないのに、邪魔者を全部殺して、自分が天皇として君臨したひどい女であると、歴史の解説本にはそんな風書いてありました。中でも一番



私がショックだったのは、持統天皇は夫である天武天皇との間に子どもが一人しかいない。これは義理でしか愛されなかったからであろう。天武天皇の妻は他にたくさんいて、4人も5人も子どもを産んでる女性もいると。ですが、受胎能力と愛情は別物です。愛情が全くなくても妊娠することは可能ですし、どれだけ愛情が深くても子を授けられないご夫婦も世の中にはたくさんいます。子どもの数で愛情の深さを測られたら、夫も妻もたまったもんじゃありません。

持統天皇のことを権力志向の女であるとか、日本史上最初の教育ママであるとか、夫から愛されなかった女とか、どうしてそんな見てきたようなことを言えるのだろうか、と思って万葉集を広げると、彼女の残した歌はものすごく構成力がしっかりしているんですよ。冷静な歌が多く、感情をかき乱されるような歌は、夫が亡くなった時の挽歌だけです。歌を見ていると、感情に任せて人を殺したりするような人ではないだろうと思いました。今度は持統天皇の業績を調べてみると、実に見事に仕事をこなしていたわけですね。さらに自分の存命中に後に道を譲って、それを見届けて亡くなった。かわいそうなところがひとつもないように見えました。

今の日本の男女観はどこからきているのか

我が国は、そもそも男女の別をあまりとやかという国ではなかったんじゃないかと思えます。男はこうである女はこうである、というのは武家社会、儒教の社会、朱子学の世界、その辺りの中国的儒教とともに入ってきました。でもそれより昔はそうじゃありませんでした。万葉集が編纂された頃の飛鳥時代、奈良時代を見てみますと、男性が女性と同じように素直に、正直に、恋の嘆きを歌う。生き生きと歌う。恋だけではありません。親しい家族を亡くして本当に辛い気持ちも、大声で泣いてしまうという気持ちも歌う。後の武家社会のように男は絶対泣くもんじゃないとか、やせ我慢してでもとにかく無表情でいると。それとは全く違いますね。

皆さん、ぜひ一度万葉の時代の男女の関係に戻って、好きな人に歌を送るつもりで「愛してるよ」の一言でも言ってください。1500年、1400年前の男たちは言ってた



わけです。「愛している、君がいないと生きていても値打ちがない」と。女も言っていました。「嬉しいわ、あなたがそう言ってくれて、永遠に私たちの愛は続くのね」って。恥ずかしかったら万葉集の中から歌を抜き書きして、そっと置くとか。色々勉強にもなって良いかと思えます。

今日は少しでも楽しく過ごしてくださっていただければ嬉しいです。最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。

万葉集の時代と現代の男女の生き方について、皆さんはどのように感じましたか? 「あたりまえ」と思っていることも、時代や地域が異なると違って見えるのかもしれませんが、皆さんも、里中さんのお言葉のように、身近な人に素直な気持ちを伝えてみませんか。

里中満智子さん [マンガ家]

【プロフィール】

1948年1月24日、大阪市に生まれる。
1964年、高校在学時に「ピアの肖像」で第1回講談社新人漫画賞を受賞、その後プロ活動に入る。
1974年「あした輝く」「娘がいく!!」の両作品で講談社出版文化賞受賞、1982年「狩人の星座」講談社漫画賞。
子どもから大人向きまでジャンルを問わず幅広い分野で作品を発表し、現在まで500タイトル以上の作品を描く。
代表作に「アリエスの乙女たち」「あかね雲」「海のオーロラ」「あすなる坂」「狩人の星座」「スポットライト」「愛人たち」「北回帰線」など。歴史を扱った作品も多く、「女帝の手記」「長屋王残照記」「アトンの娘」「ギリシア神話」「旧約聖書」「古事記」など多数。持統天皇を主人公とした「天上の虹」は32年をかけて完結した。



娘から見た母・母との関係

開催日 9月19日(土)～(全3回)

母との関係に悩む娘はとても多いです。娘を悩ませる母との関係を理解し、母が娘を苦しめる理由は何なのかを読み解き、自分の人生を生きるためにはどうすればいいかについてフェミニストカウンセラーの加藤伊都子さんにお話しいただきました。

母親自身も「女としてこうあるべき」という考えにしばられていてそれを娘に教育していることや、母と娘それぞれが幻想の娘像、母像にとらわれているという話に参加者の皆さんは大きくなずいていました。母との葛藤から抜け出すためには母とは違う人生を選択する不安や罪悪感を乗り越え、自分で自分を絶賛し幸せを見つけていくことだと話され、笑いあり涙ありの講座となりました。

参加者からは「どうして母が自分にこんな対応をしてきたのか…ずっとその根っこの部分が分からずにいました。お話を聞く中ではっきりとしたように思います。距離を保ちつつ、『自分は自分、母は母』という考えで関わっていけるようとらえ方を変えていきたいです」という声が聞かれました。



フォーカスみえ

痩せる×幸せのカンケイ

～なぜ私たちは痩せたがるのか～

開催日 9月26日(土)

健康のため?おしゃれのため?理由はいろいろありますが、多くの人が「痩せたい」と考えてしまう背景にはいったい何があるのか。文化人類学・医療人類学が専門の磯野真穂さんをお迎えし、お話しいただきました。

「初めて痩せたいと思ったのはいつ?」そのきっかけを振り返ると、「痩せていることが良い」という現代の社会で好ましいとされる風潮や創り出された価値観へのとらわれ、その奥に潜むジェンダーや社会の同調圧力に気づかされます。「やりたいことは、実はやらされていること」かもしれません。

昨今、「自分らしさ」や「個性」という言葉が世間にあふれていますが、実は、唯一無二の「私らしさ」探しは、他人との比較から始まっていること。そして、探せば探すほど限らない比較のループに陥り、満たされない承認欲求から不特定多数の「他人を意識したあなたらしさ」にすり替わることもあることや、「差異化の欲望(隣の人や過去の自分よりちょっとだけ優れていたいという心の奥底にある欲望)」についてなど、興味深いお話ばかりで時間が経つのがあっという間でした。

講師の明るい人柄とデータを織り交ぜた分かりやすい解説はもちろん、参加者同士でテーマを掘り下げる意見交換も大盛り上がり!「相対的な人との距離感で痩せ願望を軽くしていける、という新しい視点が新鮮でした」「他者との関係の持ち方を考えさせられる内容が心に響き、よかった」といった感想が寄せられました。



三重県「性の多様性に関する相談人材育成及び体制調査業務委託事業」

LGBT相談員育成講座《ベーシックコース》

開催日 9月20日(日)～(全4回)

性の多様性に関する啓発は進みつつありますが、そのことを「知っている人」は増えても「支援できる人」はまだまだ少ないのが現実…。だからこそこれから必要になる「知識を持って相談を受けられる人たち」を増やし、相談体制が少しでも充実することを目的に、性の多様性についての基礎知識を学ぶ講座を実施しました。

ベーシックコースでは、『学校』『企業』『家族』『医療』などの様々な視点から、基礎知識や性の多様性の中に潜み当事者を苦しめるジェンダーや制度、支援に必要な知識などのテーマについて、4日間にわたり講義やワーク、実践演習を行い学びました。どのテーマについても意見交換や多くの質疑応答が行われ、参加者の強い熱意が感じられる講座となりました。



同時開催：「第33回 農山漁村のつどい」

年に一度、国連が定めた女性への差別撤廃や地位向上を訴える日「国際女性デー（3月8日）」に合わせて開催する一大イベント「男女共同参画フォーラム」。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、2021年、新たな気持ちでお贈りします！

今回のテーマは、「新しい時代、囚われず、恐れず、憎まず生きていくために」

これまでに経験のない新しいウイルスの脅威や大規模災害、あおり運転やネットいじめ、はびこるハラスメント…。令和2年はさらに、外出自粛やテレワーク普及の裏で女性に偏る家事育児負担やDV被害の増加なども見られました。世の中が“分断”され、毎日を漠然とした不安や恐怖のなかで過ごすなか、誰もがなにかしらの「生きづらさ」を感じている。それでも私たちは、自分たち、そして子どもたちの未来のために、みんなが「希望」をもって生き続けられる町を、社会を築いていかななくてはなりません。

そのためには、まず一人ひとりがジェンダーをはじめとする固定観念に『囚われず』、新しいことへの変化を『恐れず』、隣人、家族、自分自身を『憎まず』に、自分らしく日々を歩んでいくことが大切です。

今年度の『男女共同参画フォーラム』は、このご時世だからこそ、女性も男性もすべての人が希望あふれる社会を諦めず、明るい未来へ向けて進むための第一歩となることを願って、開催します！

男女共同参画フォーラムとは

一人ひとりが性別にかかわらず自立した個人として、いきいきと自分の個性や能力を発揮することのできる「男女共同参画」のまちづくりのため、県内各地から人々が一堂に会し、さまざまなテーマについて考え交流する場として開催しています。前年度からは、世界各国で「女性の生き方を考える日、女性に感謝を伝える日」とされている「国際女性デー」に向けたイベントとしてリニューアルしました。

ほかにもイベントがいっぱい！

フォーラムでは、「第33回 農山漁村のつどい」や女子差別撤廃条約、LGBTQに関する分科会、パネル展示、物産販売会（お昼のみ）などの様々な企画を実施予定。また、フレンテみえ主催講座『女性の想いをカタチに。ススム、変わる!』受講生による「女性の想いを言葉に！プレゼン発表会」も行います。皆さま、ぜひご参加ください！

事業案内

フレンテみえを、おうちで。 オンライン・フレンテ「New LIFE Style」連動企画 ミニセミナー in オンライン Vol.1「シングル編」 Vol.2「仕事と家庭の両立編」



コロナ禍の今、外出や移動の心配をせずにオンラインでつながり、同じテーマに興味のある人同士、一緒に話をしてみませんか？

「フレンテみえ情報コーナーミニセミナー」を、オンラインミニセミナーとしてリニューアル！それぞれのテーマについて、思っていること、悩んでいること、他の人はどうしてるの？…などなど。自由に話せる座談会です。どうぞお気軽にご参加ください！

Vol.1「シングル編」

日時／2021年1月23日(土) 14:00～15:30
対象／30～40代の今まで結婚経験のない方

Vol.2「仕事と家庭の両立編」

日時／2021年1月24日(日) 10:00～11:30
対象／テーマに興味のある方ならどなたでも

会場／オンライン（ZoomまたはV-CUBEの使用を予定しています。参加者には事前に招待メールをお送りします。開催時間にご自宅などからご自身でオンラインにつないでご参加ください）

※パソコン、スマホなどの端末・ネット環境等をご自身での準備となります
※オンラインが初めての方など、設定や接続が不安な方はお気軽にご相談ください

トークイベントゲストは、 川上未映子さん(作家)

多目的ホールで行うトークイベントでは、芥川賞作家 川上未映子さんにご講演いただきます。「乳と卵」「夏物語」など女性の生き方にスポットをあてた作品を数多く発表され、唯一無二とも言われる繊細かつ芸術的な文体で女性に限らず多くの人々の心をわしづかみにされています。また小説のみならず、最近はSNSでも独自の視点からの鋭いコメントが多くの人々の共感と呼んでおり、オピニオンリーダーとしても大注目の方です。その言葉で多くの人々の心を動かし続けている川上さんに、これからの時代を生きる私たちへの道しるべを語っていただきます。



YUTO KUDO: Madame Figaro Japon

日時 2021年3月7日(日) 10:00～15:30
ホールイベント 13:30～15:30

会場 フレンテみえ1階 多目的ホールほか

定員 /150名程度

参加費 /無料 要事前申込(先着順)

主催 /三重県、(公財)三重県文化振興事業団

共催 /「第33回農山漁村のつどい」実行委員会

託児 /あり 要事前申込、0歳3ヶ月～小学3年生程度、
子ども1人につき1000円(託児申込締切2/21)

※今後の感染拡大状況により、日程・会場の変更や「オンライン」での実施、または事業が中止となる場合がございます。変更の際はお申込の皆さまへ個別にお知らせするほか、最新の情報はフレンテみえホームページでお知らせいたします。

川上未映子さん(プロフィール)

大阪府生まれ。2007年、デビュー小説『わたくし率イン 歯一、または世界』が第137回芥川賞候補に。同年、第1回早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞受賞。2008年、『乳と卵』で第138回芥川賞を受賞。2009年、詩集『先端で、さすわ さされるわ そらええわ』で第14回中原中也賞受賞。2010年、『ヘヴン』で平成21年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、第20回紫式部文学賞受賞。2013年、詩集『水瓶』で第43回高見順賞受賞。短編集『愛の夢とか』で第49回谷崎潤一郎賞受賞。2016年、『あこがれ』で渡辺淳一文学賞受賞。『マリーの愛の証明』にてGranta Best of Young Japanese Novelists 2016に選出。他に『すべて真夜中の恋人たち』や村上春樹との共著『みみずくは黄昏に飛びたつ』、短編集『ウイステリアと三人の女たち』など著書多数。『早稲田文学増刊 女性号』では責任編集を務めた。最新刊の長編『夏物語』は、2020年4月に『Breasts and Eggs』(Europa Editions)として英訳が刊行され、25か国以上で翻訳が進む。

事業案内

WHITE RIBBON RUN 2021 in みえ 「Healthy Women, Healthy World」 女性の健康が、世界を変える。

ホワイトリボンとは、世界中の女性がより健康に、自分らしく生きることを支援する運動のシンボルです。今年もフレンテみえではこのチャリティーに参加します。

3月8日の「国際女性デー」に向けて、世界の女性、女性の健康のために走りませんか？日本全国そして世界中の参加者とムーブメントを起こしましょう！

※あなたのエントリー費の一部が、女性の命と健康を守る支援になります。



日時 2021年3月6日(土) 10:00～12:00(予定)

会場 /津市内(決定次第お知らせします)

対象 /性別・年齢不問 **定員** /20名まで

参加費 /大人(25歳以上)3,500円
(ほか別料金、大会公式Tシャツ付き)

申込方法 /下記ホームページアドレスまたはQRコードから各自エントリーをお願いします
<https://www.wrun.jp/2021/entry>



※「WHITE RIBBON RUN 2021 in みえ」の詳細はフレンテみえホームページをご覧ください。



フレンテみえ所長の荻原が厳選した「皆さんに紹介したい人」のお話をお届けするコーナー。第3回は、フレンテみえの「LGBT相談員育成講座」に講師としてもご参加いただいている、NPO法人「LGBTの家族と友人をつなぐ会」の浦狩知子さんです！



フレンテ所長
荻原くるみの

紹介したい人！



— 第3回 ^{うら がり と も こ}浦狩知子さん(NPO法人「LGBTの家族と友人をつなぐ会」)—

浦狩さんは、三重県津市在住。3人のお子さんのお母さんです。6年前、15歳のお子さんからカミングアウトを受けたことをきっかけに、このような子どもたちが生きやすい世の中になるようにと活動を続けています。

交流会の開催や講演会・研修会の講師として、また、NPO法人「LGBTの家族と友人をつなぐ会」名古屋理事、当事者・当事者の母・高校生で作られたNPO団体「NFT (New Future of Transgender)」のメンバーとして活躍中。

2020年8月からはいなべ市の「LGBT電話相談員」を、また、三重県が今年度内の制定をめざしている「性の多様性を尊重し、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例（仮称）」の検討会議委員を務めていらっしゃいます。



Q1 NPO法人「LGBTの家族と友人をつなぐ会」に参加された経緯を教えてください。

このNPOは2006年、神戸に住む2人のお母さんが立ち上げました。お2人ともお子さんから性的マイノリティであることをカミングアウトされましたが、相談できる窓口がないことに愕然とし、その名のおり家族と友人を、そして社会と当事者をつなぐため、この団体を立ち上げたそうです。私はそこへ、自分の子どもの相談や当事者の皆さんの声を聴きたくて、また世の中の動きや医療の情報が欲しくて、3年間通いました。その後、名古屋にお住まいの理事さんから依頼があり、後を継ぐ形で理事になりました。相談していた3年間でたくさんのお母さんや当事者の方にお会いすることができ、「私は一人ではない」と前向きになれたので、恩返し気持でこの活動をしようと思ったんです。

Q2 主にどのような活動をされているのですか？

今は、東京、名古屋、神戸、福岡の4拠点で、6人の理事たちが毎月当事者や家族との交流会を開催し、互いに相談しあったり、励ましあったりしながら情報交換をしています。また、児童・生徒さんや教職員、地域の皆さんに向けた講演や研修の講師として啓発活動や相談活動を行いながら、当事者やご家族が笑顔になることをめざして活動しています。初めて参加される方は、「誰にも相談できなかった」とか「どうしていいかわからない」などと涙ながらに話されます。私も当時は泣いてばかりでした。でも、そんな皆さんが、何回か交流していくことでご自身もご家族もそれぞれ自分を肯定できるようになり、笑顔が増えていきます。そんなとき、本当に頑張っただけ活動してよかったと思えます。

Q3 活動のなかで、当事者の方からはどのような声が寄せられているのでしょうか？

当事者の方からの相談は、親に言えないことや、親が理解してくれず会話がなくなったこと、険悪な状態が続いているなどが多いです。また、学校や職場で、制服を着られない、更衣室での着替えがしんどいなどの声もあります。ある同性愛者の方は、自分自身のセクシュアリティを訳も分からず「悪いこと」と自ら否定して、体調も崩し精神科に長い間通院していますが、自分が同性愛者であるということを医者にも言えないまま、睡眠薬や抗うつ剤をもらっていると言っていました。親からは「嘘はダメ」と言われて育てられますが、当事者は「本当のことを言うと親が悲しむ」「自分を隠さないといけない」と考え、心を病んでしまいます。「もう嘘をつかなくていいよ」「本当の自分を生きて大丈夫だよ」と言える世の中にしていきたいです。

Q4 最後に、情報誌Frenteの読者の皆さんにメッセージを！

私の子どもはトランスジェンダーです。トランスとは「境界を超える」という意味があります。この子たちは性別の境を超えようとしています。差別や偏見に挑むことがどれほどの勇気がいるか想像してみてください。どうか、この子たちを見かけたら、勇気がある子だなとか、自分に正直に生きているんだなと、温かい目でみていただけないでしょうか。また、この子たちを授かった親たちが、自慢の子だといえる世の中に変えていけるよう、ご理解をお願いします。

フレンテスタッフ
コラム
第3回

4回シリーズ あなたとわたしの『あたりまえ』を考える
『知らない』ことに気付くために

少し前に、ある議員の方々の多様な性に関する発言が、悪い意味で話題となったのをご存知でしょうか。

「同性愛が広がれば自分の住んでいる地域は減びる」「私の住んでいる地域にLGBT差別は存在しない」「小学校や中学校でレズビアンやゲイについて教える必要はない」(※地名が特定されないよう一部改変)

これを読んで、皆さんはどう感じますか？

この発言が多くの人を傷つけてしまうのは、既に様々な視点から論じられているため、あえてここで一つひとつ指摘はしません。今回皆さんに考えてもらいたいのは、なぜこのような発言が「議員」という社会的な影響力を持つ立場の方からでてきたのか、という点です。

恐らく、この議員の方たちは誰かを傷つけようと思ってこれらの発言をしたわけではないと思います。つまり、自分の発言が正しいと思ってしまっているのです。(※傷つける意思がないから許される、とい

うわけではありません)

多様な性に関する知識を持っていれば、少子化と同性愛は別の問題であること、性のあり方を理由とした差別が根強く残っていることなどは明らかです。ですが知らなければその課題は『ないもの』にされてしまいます。この方たちにとっては、まさに多様な性に関する課題は存在せず、他にもっと取り組むべき課題がある、という考えなのでしょう。

この議員の方たちの話は極端な例かもしれませんが、ですが、私たちは自分が思っている以上に他者を、ことさら少数派とされている人たちを『知らない』のです。

私たちは誰もが『知らない』ことによる差別的な言動をしてしまう可能性があります。今回挙げた例に対して、敏感に差別であると気付いたあなたも、もしかすると別のテーマでは差別をする側になってしまうかもしれません。まずは自分が『知らない』と自覚し、受け入れる必要があるのではないのでしょうか。

このコーナーでは、多様な性を身近に感じ、誰もがもつ「思い込み」について考えるコラムをお届けします。次回(最終回)もお楽しみに!

フレンテみえて、なに?

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流という「5本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください!

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ 検索

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど... 男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

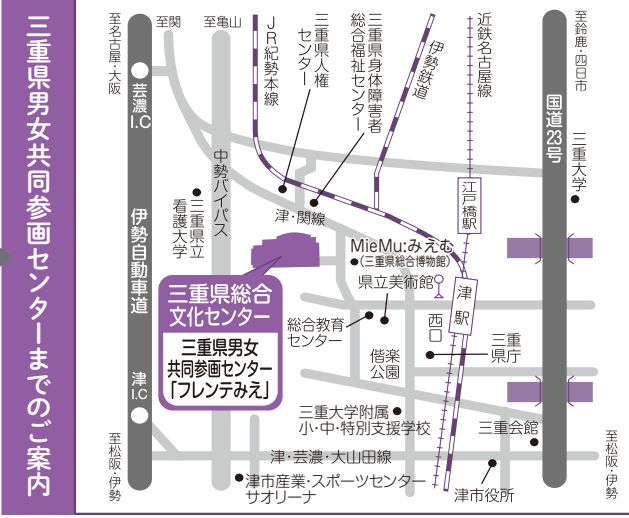
フレンテみえ 専用ダイヤル 059-233-1133 相談室

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00~12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00~15:30	休館日	●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00~19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

※このほか女性のための面接相談、法律相談と男性のための電話相談、LGBT電話相談を実施しています。詳しくはお問合わせください。

フレンテみえ相談室のご案内 (切り取ってご利用ください)



- 休館日 毎週月曜日 年末年始(12月29日から1月3日)
- 交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分 ■徒歩/津駅西口から約25分 ■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分 ※駐車場は1,400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター 三重県男女共同参画センター フレンテみえ 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地 TEL 059-233-1130 FAX 059-233-1135 URL https://www.center-mie.or.jp/frente/ E-mail: frente@center-mie.or.jp

再生紙を使用しています。